

7 「地（知）の拠点整備事業」庄内オフィスの活動

(1) 文部科学省「地（知）の拠点整備事業」とは

地域課題の解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的。全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援するもの。

平成 25 年度は 319 件の申請があり、52 件が採択。私立大学では 180 件中 15 件が採択。東北・北海道の私立大学で採択されたのは本学のみ。

(2) 採択テーマ（「地域力結集による人材育成と複合型課題の解決－庄内モデルの発信」）について

本学が事業の対象とする山形県庄内地域には、全国の地方と同様に以下の課題が存在。

- ① 就業機会・雇用の創出
- ② 交流人口の拡大と観光産業の創出
- ③ 農商工連携・6次産業化の推進
- ④ 地域エネルギー対策
- ⑤ 主体的なコミュニティ組織づくり
- ⑥ 中山間・離島地域の集落の維持
- ⑦ 空き家・空き店舗等中心市街地の空洞化

これらの複合要因による7つの課題を解決するためには、学際的な知見と地域力の結集が必要。また、地域を動かし解決する人材の不足を解消することが必要。本申請事業により、「若者」を中心とした地域リーダーの育成に取り組み、多彩な専門分野を活かした学際的なアプローチと地域力の結集を通じて課題解決を図り、「庄内モデル」として発信。

申請額は5年間（平成 25 年度～29 年度）で2億 5,100 万円。

(3) 取組み体制

地域の様々な課題に対し地域と連携して取組み、本学の人材育成に資することを目的として、「庄内オフィス」を設置。庄内オフィスの下に以下の5つの部会を設置し、事業を実施。

- ① カリキュラム調整部会
地域志向のカリキュラムの推進を通して地域で活躍することのできる人材育成。
- ② 地域リーダー育成部会
地域リーダーの育成を目的として「庄内地域カレッジ」を開講し、庄内地域の子ども、中学生、高校生、若者、地域住民を対象とした年代別プログラムを柱とする人材育成プログラムの企画・運営を実施。
- ③ 地域課題研究部会
複合型地域課題解決のために、教員が地域に根ざした研究を行うと共に、研究者間の連携を高め、本学の特徴である学際的な研究を更に推進。
- ④ アクションプロジェクト運営部会
地域住民と協力しながら庄内の未来を変えていくプロジェクトを生み出し、課題を解決していく、新しい仕組みを庄内に作る。

⑤ 発信・アーカイブ部会

「庄内オフィス」を核とした人材育成、地域課題の発見、抽出から課題の解決までのプロセスを「庄内モデル」として映像に記録・アーカイブ化し広く発信。

(4) これまでの活動状況

(平成 25 年度) 交付決定額 17,418 千円

- 9 月 1 日 「庄内オフィス事務室」立ち上げ
- 10 月 1 日 事業採択記念講演後援会
トヨタ自動車株式会社前社長 渡辺捷昭相談役、寺島実郎氏、佐高信氏
- 10 月 9 日 地域力を結集するためのプラットホーム「庄内オフィス」設立準備会
(対象：連携自治体)
- 10 月 16 日 庄内オフィス連携外部団体への内容説明会
(対象：連携各種団体、NPO、組織)
- 10 月 24 日 東北公益文科大学の未来を語る座談会～「地（知）の拠点」としての使命
(本学理事長、学長、理事者による座談会)
- 10 月 24 日 庄内オフィス第 1 回全体会
(連携自治体、連携各種団体、NPO、組織の代表等：31 名参加)
- 10 月 24 日 第 1 回地域課題共有検討会(7 グループによるディスカッション：70 名参加)
- 10 月 30 日 山形県庄内総合支庁と共通の事業推進キャッチフレーズ「これからの庄内を考
えることは楽しい」を発表
- 11 月 8 日 東京イイノホール&カンファレンスセンターにて文部科学省(JST)主催
「地域再生と地（知）の拠点としての大学への期待」に参加。
(約 500 名来場、私立大学としては本学のみ発表。)
- 12 月 11 日 平成 25 年第 13 回 FSD「地（知）の拠点整備事業」業務仕分けについて 開催
- 12 月 20 日 本学後援会企業向け、地（知）の拠点事業内容説明会 並びに社長インターン
シップ報告会開催
- 1 月 23 日 発信力入門セミナー 開催
講師：加藤丈晴氏(11 年に博報堂退職後、庄内へ I ターン) 学生参加者：12 名
- 1 月 27 日 山形大学 COC 事業キックオフシンポジウム
(武田地域リーダー育成部会長がパネリストとして出席)
- 2 月 4 日 女性の会ローズへの「地（知）の拠点整備事業」の事業内容説明
- 2 月 11 日 鶴翔同窓会榎引支部への「地（知）の拠点整備事業」の事業内容説明
- 2 月～3 月 町田学長による 2 市 3 町、庄内総合支庁の首長ヒアリング
2 月 5 日：鶴岡市、庄内町、遊佐町、2 月 18 日：三川町
2 月 21 日：酒田市、3 月 5 日：庄内総合支庁
- 3 月 17 日 地の拠点円卓会議（第 2 回地域課題共有検討会）
学長による首長ヒアリングの結果をふまえて本事業において取り組むべき課
題について、市民より意見聴取。

(平成 26 年度) 交付決定額 52,716 千円

- 4 月 課題解決アクションプロジェクト 開始
- ・日本海からみた庄内 - 新たな観光産業の創出をめざした広域連携モデルの構築
 - ・地域コミュニティにおける防災・見守りの仕組みづくりー多様な主体との共創・他地域との交流による住民の主体的な合意形成モデルの構築
- 5 月 9 日 庄内経営者塾 (株式会社平田牧場会長・本学理事長 新田嘉一氏)
- 6 月 1 日 地域課題基礎研究費 (8 テーマ採択) 執行開始
- 6 月 6 日 庄内経営者塾 (株式会社ウエノ代表取締役・本学理事・後援会長 上野隆一氏)
- 7 月 7 日 公式ホームページ開設 (<http://coc.koeki-u.ac.jp/>)
- 7 月 19 日 庄内地域カレッジ開講記念シンポジウム
- 7 月 30 日 庄内経営者塾 (フィデアホールディングス株式会社取締役会議長・本学理事・前学長町田睿氏)
- 8 月 6 日 地域エネルギー対策ー風力コリドー構想に関する意見交換会 (1)
- 8 月 18 日 庄内地域カレッジ「庄内の達人プロジェクト」研修 (～19 日)
- 9 月 3 日 地域エネルギー対策ー風力コリドー構想に関する意見交換会 (2)
- 10 月 11 日 庄内地域カレッジ「庄内の達人プロジェクト」(～13 日)
- 11 月 5 日 地域エネルギー対策ー風力コリドー構想に関する意見交換会 (3)
- 11 月 7 日 酒田市新田産業奨励賞記念講演会 (庄内経営者塾公開講座)
(本学客員教授 寺島実郎氏・佐高信氏)
- 11 月 20 日 庄内小水力利活用推進円卓会議 (1)
- 11 月 27 日 平成 26 年度第 1 回全体会議
- 11 月 28 日 庄内経営者塾 (講道館九段 山本四郎氏)
- 11 月 28 日 課題解決アクションプロジェクト「誰も孤立させない絆づくりプロジェクト」
報告会
- 12 月 24 日 本学が地域に及ぼす経済波及効果の調査結果公表 (フィデア総合研究所)
- 12 月 20 日 地域課題解決全国フォーラム in 庄内 (～21 日)
- 1 月 21 日 庄内経営者塾 (東京国立博物館長 銭谷眞美氏)
- 1 月 29 日 庄内小水力利活用推進円卓会議 (2)
- 2 月 26 日 日本政策金融公庫との間で、起業家育成等による地域経済の活性化を目的とした「業務連携・協力に関する覚書」の協定締結
- 2 月 28 日 高知大学主催「地 (知) の拠点整備事業シンポジウム～COC 全国ネットワーク化事業」にて本学の事業成果発表
- 3 月 2 日 地域・大学協働人材育成プログラム成果報告・ワーキンググループ会議
- 3 月 5 日 風力発電に関する提言 公表
- 3 月 15 日 平成 26 年度COC事業成果報告会 (～16 日)
- 3 月 21 日 事業成果のテレビ放映 (YBC 山形放送) (21 日前編、29 日後編)
- 3 月 26 日 外部評価委員会

(平成 27 年度) 交付決定額 37,000 千円

- 4 月 課題解決アクションプロジェクト 開始
- ① 多様な住民参画による地域課題解決の推進による地域コミュニティの維持・発展のための人づくり(鶴岡市第一学区)
 - ② 同上(酒田市宮野浦学区)
 - ③ 同上(鶴岡市加茂地区)
 - ④ 同上(酒田市八幡日向地区)
 - ⑤ 地域包括ケアシステムの構築に向けた“市民参画“の仕組みづくり
 - ⑥ 自然保護と共存する観光 地域と取り組む新しい観光の形
 - ⑦ 庄内地方における風力発電及び小水力発電の推進
 - ⑧ 一次産業の活性化のための農商工連携・六次産業化の推進
 - ⑨ コワーキングスペースの立ち上げと運用
 - ⑩ 子ども未来白書の作成”
- 5 月 1 日 地域課題基礎研究費(10 テーマ採択) 執行開始
- 7 月 8 日 クラウド型教育支援システム manaba に関する研修会(FSD) 開催
- 11 日 日本私立大学連盟平成 27 年度学長会議第 1 回全体会議において本学の事業成果発表
- 8 月 4 日 平成 27 年度全体会議 開催
- 8 日 庄内地域カレッジ「庄内の達人プロジェクト」研修 開催(～9 日)
- 9 月 8 日 コワーキングスペース UNDERBAR グランドオープン
- 10 月 14 日 庄内南部定住自立圏研修実施(アドバイザー参加)
- 11 月 1 日 山形大学採択(本学参加大学)COC+事業(「協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業」)執行開始”
- 12 月 5 日 第 2 回地域課題解決全国フォーラム in 庄内 開催(～6 日)
- 11 日 Koeki Kids Project 実施(浜田小、1/15 浜中小、2/5 宮之浦小、2/12 酒田四中)
- 18 日 立谷沢地区活性化検討会議 開催(オブザーバー参加)(1 月 26 日、3 月 25 日)
- 1 月 20 日 平成 27 年度「庄内の文化」(私たちの考える庄内地域の課題解決策)発表会(27 日)
- 2 月 9 日 山形大学主催 COC+キックオフシンポジウム参加
- 23 日 地域・大学協働人材育成プログラム成果報告会・ワーキンググループ会議(兼 COC+協働人材育成部会)開催
- 28 日 高知大学主催「COC/COC+全国シンポジウム」のポスターセッションにて本学の事業成果発表
- 3 月 12 日 発信・アーカイブ部会講演会(講師:桑原昭二氏) 開催
- 12 日 地域共創コーディネーター養成プログラム構築事業研修会(講師:稲村理紗氏) 開催
- 13 日 庄内地域カレッジ「庄内の達人プロジェクト」聞き書き成果報告会 開催
- 16 日 庄内小水力利活用推進円卓会議(第 3 回) 開催
- 29 日 外部評価委員会 開催

(平成 28 年度) 交付決定額 23,400 千円

4 月 課題解決アクションプロジェクト 開始

- ① 地域包括ケアシステムの構築に向けた“市民参画“の仕組みづくり
- ② 山形県酒田市飛島における地区防災計画策定アクションプロジェクト
- ③ 多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進及び地域コミュニティ組織のための課題解決プラットフォームの構築
- ④ 多様な主体が協働する観光～地域資源を活かして(酒田おもてなし隊、酒田地域づくり女流塾、烏海山トレイル)
- ⑤ コワーキングスペースの立ち上げと運用
- ⑥ 一次産業の活性化のための農商工連携・六次産業化の推進
- ⑦ 庄内地方における風力発電及び小水力発電の推進

16 日 地域共創コーディネーター養成プログラム開講(～1月28日)

5 月 1 日 地域課題基礎研究費(6テーマ採択)執行開始

31 日 高校生と地元企業の職業体験会(WAKU WAKU WORK 2016) 出展
(7月12日、9月1日、14日)

7 月 14 日 Koeki Kids Project 実施(浜田小)(3月10日宮之浦小)

8 月 2 日 平成 28 年度全体会議 開催

20 日 庄内地域カレッジ「庄内の達人プロジェクト」研修 開催(～21日)

9 月 4 日 宮城県丸森町先進地調査 参加(庄内町立谷沢地区活性化関係)

17 日 稚内北星学園大学主催 COC 全国フォーラム 参加(18日)

19 日 ボランティアコーディネーションカ3級検定 実施

9 月 24 日 コワーキングスペース UNDERBAR 創業セミナー開催(日本政策金融公庫との共催)(10月26日、11月26日、1月25日、2月25日)

10 月 17 日 まちづくりデザインスタジオ開講(～3月20日)

19 日 東北インバウンドサミット in 酒田開催

12 月 3 日 第3回地域課題解決全国フォーラム in 庄内 開催(～4日)

18 日 立谷沢地区活性化検討会議 開催(オブザーバー参加)(1月26日、3月25日)

20 日 山形大学採択(本学参加大学)COC+事業(「協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業」)に基づく社長インターンシップの全県展開承認

1 月 18 日 「庄内の文化」(私たちの考える庄内地域の課題解決策)発表会(25日)
庄内小水力利活用推進円卓会議(第4回) 開催

2 月 10 日 「やまがた多職種連携学生ネットワーク」活動報告会 開催

11 日 山形大学主催 COC/COC+シンポジウム参加

13 日 広島・島根先進地調査(立谷沢地区活性化関係)(～15日)

3 月 6 日 高知大学主催 COC/COC+全国シンポジウム参加(～7日)

11 日 庄内地域カレッジ「庄内の達人プロジェクト」聞き書き成果報告会開催

16 日 地域・大学協働人材育成プログラム成果報告会・ワーキンググループ会議
(兼 COC+協働人材育成部会) 開催

29 日 外部評価委員会 開催

(平成 29 年度) 交付決定額 20,000 千円

4 月 課題解決アクションプロジェクト 開始

①庄内町立谷沢地区における人口減少抑制策と地域活性化:

6/19 6次産業化セミナー参加

6/26、8/18、10/19 立谷沢を元気にするプラン作りワークショップ参加

②多様な主体が協働する観光～地域資源を活かして(酒田おもてなし隊、酒田地域づくり女流塾、鳥海山トレイル)

③多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進及び地域コミュニティ組織のための課題解決プラットフォームの構築

④地域包括ケアシステムの構築に向けた“市民参画”の仕組みづくり

⑤現存する日輪兵舎「日輪講堂」の保存に向けたアクションプロジェクト

4 月 15 日 地域共創コーディネーター養成プログラム開講(～11月10日)

5 月 1 日 地域課題基礎研究費(6テーマ採択)執行開始

5 月 23 日 高校生と地元企業の職業体験会(WAKU WAKU WORK 2017) 出席
(5月23日、7月11日、8月30日、9月21日)

7 月 9 日 まちづくりデザインスタジオ 公開シンポジウム 開催

8 月 社長インターンシップ 実施(本学学生8名、山形大学農学部1名)(～9月)

8 月 22 日 庄内地域カレッジ「庄内の達人プロジェクト」研修 開催(～23日)

9 月 24 日 ボランティアコーディネーション力3級検定 実施

9 月 29 日 庄内南部定住自立圏研修 アドバイザー参加

10 月 4 日 春学期インターンシップ成果報告会 開催

11 月 3 日 第4回地域課題解決全国フォーラム in 庄内 開催(～4日)
人材育成シンポジウム 開催・平成29年度全体会議 開催

11 月 10 日 平成29年度地域共創コーディネーター養成プログラム修了式 開催

11 月 14 日 日本学生支援機構主催インターンシップ等専門人材ワークショップ参加

11 月 19 日 岩手大学主催「大交流大会 in Iwate 2017」 参加

11 月 20 日 北海道・東北ブロックCOC+推進コーディネーター会議 参加

11 月 25 日 やまがた雪みらい「雪サロン」 開催(COC+協働人材育成部会)

12 月 6 日 Koeki Kids Project 実施(浜田小)(1/24 浜田小、遊佐小、3/6 酒田四中)

12 月 15 日 山形大学主催COC/COC+シンポジウム 参加

1 月 20 日 医療・介護の将来を考える地域住民と学生によるアイデアミーティング開催

1 月 31 日 COC+やまがた創生戦略協議会担当者会議 出席

2 月 社長インターンシップ 実施(本学学生5名)(～3月)

2 月 6 日 COC+に係るアドバイザーボード会議 出席

3 月 2 日 高知大学主催COC/COC+全国シンポジウム参加(～3日)

3 月 10 日 在宅医療・介護の課題解決に資する政策提言をめざすイベント 開催

地域共創コーディネーター養成プログラムふりかえりワークショップ開催

3 月 15 日 COC+やまがた創生戦略会議 出席

3 月 28 日 外部評価委員会 開催